

●マメイタイセキグモ (*Ordgarius hobsoni*)

マメイタイセキグモは、個体数自体が非常に少ないため国内での採取記録自体が少なく、「日本七大珍種蜘蛛」の一種とされています。本来南方系の種であり、関東以北での記録はありません。実に珍しい、本当に珍しいクモです。今回は瀬戸市の山林でマテバシイの葉裏に付いていた個体を発見しました。



● マメイタイセキグモ (*Ordgarius hobsoni*)

マメイタイセキグモは、ナゲナワグモ科イセキグモ属に属しており、夜になると粘液の付いた糸を“投げ縄”の様に振り回しながら蛾などの獲物を絡め捕ります。この粘液からは特定種の蛾を誘引するフェロモンの様な物質が発散させられていると言われています。我が国でこの様な方法で獲物を採取するクモは、本種と「ムツガイセキグモ (*Ordgarius sexspinosus*) の二種のみで、双方とも非常に珍しいです。